



岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

平成31年4月10日

岡山市長 大森 雅夫 様

ソウメイガックレンゴウジシニボウサイカイ

フリガナ 団体名 操明学区連合自主防災会

所在地

連絡先

フリガナ 代表者役職・氏名 会長 オイミツオ 小田光雄

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名	操明学区防災フロント(最前線)事業
事業実施区域 (小学校区)	岡山市中区 操明小学校区
① 事業実施内容	<ol style="list-style-type: none"> 1) 新役員の方と持続可能な協働組織作り。 2) 要配慮者避難訓練、見守り体制。 3) 町内会以外の受入体制と非常時連絡網の確立。 4) 企業との提携・連絡網の作成・周知。 5) 単位自主防災会の新役員研修会開催。 6) 連合防災士の操明防災研修会の講師陣の充実。 <p>※事業実績を示す写真(事業内容ごとに2枚程度)、作成した報告書やチラシ等を添付してください。アンケート等を行った場合は、集計結果を添付してください。また、新聞等で取り上げられた場合は、その写しを添付してください。</p>
② 解決を目指した課題	<ol style="list-style-type: none"> 1) 協働団体=持続可能な協働連帯組織のマニュアル作成へ。 2) 避難活動要配慮者=避難を円滑に進めるための研修・訓練。 3) 避難場所=円滑運営の見直し・町内会以外の受入体制。 4) 企業提携=提携ルール・連絡網の作成・周知

③ 目的・目標の達成状況

- 1) 持続可能な最前線防災組織づくり
27町内会136人最小组織、避難誘導班長のもとに4～5人の情報連絡網のほぼ完成。
 - 2) 要配慮者支援計画
市危機管理室よりの名簿と、学区で承握した人達の個別計画表の書換え確認
救出救護班員、受入避難場所の決定周知もほぼ完成。
 - 3) 最前線の人材育成
地域マニュアルの完成で統一された防災役員研修会、訓練が出来る様になった。
 - 4) 緊急時連絡網の構築
緊急時連絡の連絡網のほぼ完成。本年初めて緊急時5分以内の連絡網として訓練した。
携帯と無線での結果は良かった。本災害の時の行政との連絡の課題があったが
本災害の時の行政等との学区の状況連絡網出来る。
 - 5) 各種団体・企業及び学区外との協働
- ② 1) 各協働団体との役割分担が明確化された。
2) 真備町の災害を目の当たりにして情報連絡に特化して伝達訓練を行った
3) 協働団体と8/23日、実災害で経験する事が出来た。行政とのつながりが課題。
4) 避難協定を締結した、企業団体と、連絡網で11月3日訓練を行った。

情報公開

- 1) 操明ホームページで訓練・研修会等を紹介している。
- 2) 操明ネットワーク新聞に掲載、年四回全戸配布している。
- 3) 連合町内会役員総会で、年二回報告をしている。
- 4) 紹介に対応して情報公開を行う。
本年は7回にわたり、学区外の地域の皆様と講演、研修会を開催。
- 5) DVDにして訓練模様を全年度残している。

企画等

- 1) 操明地域マニュアル(案)で新役員研修会から避難訓練まで連動して行う。
- 2) 出来る単位自主防災会から独自の企画を生かして訓練を行なう。
地域最前線課題の防災協議会の充実
例、一人一人違う要配慮者支援のあり方
- 3) 学校・地域の団体・企業と緊急時連絡網(5分以内)確認訓練。
- 4) 山陽学園短大と。地域マネジメント学部授業の一環として懇談会2回。
- 5) 観音寺社会福祉協議会と防災懇談会を持つ。

※実施にあたって工夫したこと、また住民への活動の周知広報の取組とその評価を記載してください。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">⑤ 次年度計画</p>	<p>※次年度に引き継ぐ課題、今年度の実績を踏まえた次年度計画の概要をご記入ください。また次年度に引き継がず活動を完結する場合はその理由（課題が解決したからなど）をご記入ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 新役員の方と持続可能な協働組織作り。 2) 要配慮者避難訓練、見守り体制。 3) 町内会以外の受入体制と非常時連絡網の確立。 4) 企業との提携・連絡網の作成・周知。 5) 単位自主防災会の新役員研修会開催。 6) 連合防災士の操明防災研修会の講師陣の充実。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">⑥ 事業実施者の評価・感想、審査会での助言及び意見を踏まえた改善</p>	<p>※事業を実施することを通じて持続可能な地域づくりを進めることができたか、持続可能な地域づくりを担う人づくりにつながったか、地域の課題解決力は高まっているか等、本事業についての自己評価をご記入ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 区づくり事業のおかげで初期計画は、ほぼ出来上がってきたと思います。 <ul style="list-style-type: none"> ・4年間の成果を踏まえ、総合的に研修会・訓練を実践してみたいと思います。 ・研修会等の資料代等で経費がかさむようになりました。工夫が必要です。 2) 学区外交流を進めることで、新たな課題も出てきました。 <ul style="list-style-type: none"> ・操山より南部の膨大な人数の、高台避難場所、施設への経路、それぞれの場所での責任者、連絡網手段、確認等課題が山積です。 ・これらの連絡網の整備を進めて行きます。 3) 無線機の扱いについて <ul style="list-style-type: none"> ・リース期間が終わりますが、災害時連絡機器とし、中古品として買い取りたいと役員会で決まりました。ご無理をお願いする事になるかも知れません。 4) 新役員研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・真備町の災害から、研修会開催を7月実施から5月実施に変更する。新役員研修会が終わっていなかった為、前年度役員からの連絡網が一部機能しなかった。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容

1) 実状を反映した素晴らしい防災マニュアルができています。読み込みの講習会など、よりきめ細かい取り組みを行うことで、益々の進化を期待します。

有難うございます。今年のアンケートで、まだまだ住民の皆様が家庭内で、家庭内での防災意識が高まっていない事がわかりました。

2) 防災活動の見本であり、フロントランナーとして、他学区の参考となるよう、計画の立て方や実施方法など、積極的な情報公開をお願い致します。

協働団体と地域外団体との防災交流が始まりました。

3) 地域防災の課題として、町内未加入者や小中学校等子供への防災教育がありますが、それらに対する積極的な取り組みも期待します。

新しく中消防署と協働で企画しております。

6) 要配慮者に対する個別避難計画や住民への、5分以内連絡網の訓練実施など、地域住民の一体化を高めていると思います。

11/3日訓練データですが、携帯が使えない時間帯がありました。連絡時間も約30分かかりました。連絡世帯も約68%でした。

右記のI～Vの該当部分に○を付けてください。なお、IVを選ばれたときは、その理由を下記()内へ記入して下さい。

(理由:)

助言等の内容について、改善ができましたか。

- I できた
- II おおむねできた
- III 一部できなかった
- IV まったくできなかった
- V 改善意見がなかった

⑧事業実施経過

※時系列に沿ってご記入ください。事業実施のための準備や打ち合わせ会合日などもご記入ください。補助事業実施決定前の準備活動についてもございましたらご記入ください。

月日	活動内容
4月	1日学区桜祭り。 連合自主防災会30年度役員総会(区づくり事業含む) 毎月第四日曜日、8時～防災倉庫草刈り、会議。 学区連合町内会役員総会
5月	区づくり事業企画会議。新一年生保護者に防災アンケート調査。 学区連合自主防災会、役員変更及び研修会議。 新役員変更届作成提出。 小学校運動会。操明学区福祉活動計画推進委員会
6月	学区連合自主防災会会議。 新役員講習会の講師勉強会2回
7月	災害対策本部及び避難所開設 防災無線機使用訓練・新役員研修会。新役員アンケート調査 11/3防災訓練企画会議。 災害対策本部及び避難所開設
8月	アンケート分析 研修会反省会 災害対策本部及び避難所開設
9月	防災訓練企画会議。 連合役員会議。 学区体育祭
10月	学区連合自主防災会会議。 学区敬老会。
11月	学区防災訓練。防災アンケート調査。反省会。 企画会議。 操明学区福祉活動計画推進委員会
12月	学区クリーン作戦。 30年度事業反省会。 次年度事業計画案会議
1月	防災倉庫備品棚卸。 要配慮者名簿の更新及び新規登録者個人避難計画作成。
2月	学区連合自主防災会会議、次年度事業計画。 連合町内会三役会議、各種行事との打合せ。 防災会総会資料の作成。 福祉のまちづくり、かけはしの会と交流会
3月	学区連合自主防災会、区づくり事業監査。 操明学区福祉活動計画推進委員会 ふれあいセンターふれあい祭り、屋台出店 なかまちーズと交流パネル展示

⑩ 収支決算書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	120,000	120,000	
負担金	120,000	168,210	
参加費			
寄付、他収入			
計	240,000	288,210	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
1.食糧費	30,000	35,914	会議用お茶代
2.消耗品費	0	15,023	燃料・USBメモリー他
3.印刷製本費	50,000	71,325	資料コピー代
4.通信運搬費	8,000	16,784	切手代・電波使用料
5.使用料・賃借料(会場費)	152,000	141,264	会場費・無線維持費
計	240,000	288,210	